

高安詰所だより

第17号

立教186年

5月23日



婦人会委員部長研修会 (4月27日)

「集まる理」

「諭達第四号」が發布されて半年が経ち、早くも「三年千日」の六分の一が過ぎましたが、うかうかしていると、時はどんどん流れていきます。「たすけ一条」の道というのは決して楽々の道ではありません。けれどもこの道を通るお互いにとっては避けては通れない、どうしても通らねばならない道だとお教え頂いています。たとえ苦勞の道、茨道であつても、同じ通るなら明るく陽氣に通りたいものです。陽氣で明るく楽しい人の周りには、自然に人が集まります。同じように、明るく楽しい所なら、誰もが自然と足が向きます。高安詰所のモットーは、「明るく、楽しく、温かく」です。国々処々で、日々人だすけに御苦勞下さる信者の皆様が、帰りたくなるような明るく、楽しく、温かい詰所を目指して、詰所も『三年千日』頑張っています。

六月は別席強調月間です

「三年間で千四百名の

別席者のご守護を」

詰所行事予定（六月）

八日 にをいがけ実動

十三日 おつとめ勉強会

十五日 勤務者修練Ⅰ

十七日 直轄祭参拝（大教会）

十八日 教祖お入り込み記念日

二十日 勤務者修練Ⅱ

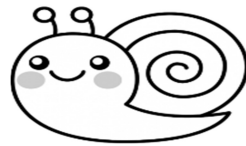
二十三日 大教会月次祭参拝

二十六日 本部月次祭参拝者受入れ

修養科生 四百名

「三年間で四百名の修養科生を」

この方針に沿えるよう、詰所でも全力で取り組んでいます。



教祖百四十年祭

詰所の動き

詰所カフェ&ライブ（四月二十六日）

恒例の詰所ミニライブ演奏会『ファミリ-

コンサート』。今月は修養科男子教養掛の

星山道一先生の龍笛と、高社分教会長大浦

正人先生の箏の豪華コラボに加えて、女

子教養掛の古川はるみ先生のオカリナ演

奏も参入。演目も聴衆の年齢に合わせた多

彩な内容で、皆さんに大変喜んで頂きまし

た。再開されたカフェも大繁盛で、かぐら

づとめを拝した後のひとときを、芳ばしい

コーヒーを味わいながら心地良い音楽で

寛いで頂きました。ライブでは、出演下さ

る方も毎月のように増えてきています。参拝帰りに是非詰所

にお立ち寄り頂き「カフェ&ライブ」をお楽しみ下さい。



「詰所ギャラリー」

素晴らしい芸術作品が詰所に届きました。フランスのサロン・ドートンヌ正規会員の岩谷寛男画伯作の「種」。

パリのオルリー空港ギャラリーに出展された大作で、この度、先生のご

好意でご寄贈頂くこととなりました。細部に至るまで力強いタッチで描かれ、見る者に深い感動と躍動を与えてくれます。作品は一階奥廊下に展示されています。どうぞご覧下さい。

「委員長研修会」

婦人会高安支部

婦人会高安支部では、おやさと、関東の二会場に分けて「委員長研修会」を開催し、年祭活動に於ける「道の台」としての自覚と働きを促されています。四月二十七日には、詰



所を会場に百三十名もの委員長が参集。共に切磋琢磨し、年祭



活動への覚悟も新たに実動を誓い合いました。関東会場の開催は次の通りです。委員長の方方は漏れなくご参加下さい。

・関東会場（都南分教会） 五月二十九日 午前九時半より

徒歩団参（五月四日）

青年会主催の徒歩団参が三年ぶりに再開されました。コロナ禍にも細々と続けてきましたが、漸く大勢で歩けるようになりました。信貴山を一気に越えて、竜田川でお弁当を開き、額田部の高橋を渡つておちばを目指すいつものコースを、教祖お入り込み当時や初代会長様の御苦勞を偲ばせて頂きながら、大教会長様を先頭に和気藹々と歩かせて頂きました。



異動（詰所関係）

・松井敏孝さん（泉東・東大分）



事務所青年の松井敏孝さんが、勤めを無事終えられ、引き続き教人資格検定講習会も修了して、現在は上級泉東分教会の青年として勤められています。専修科の二年間を含め、詰所での四年間の伏せ込みは今後の大きな糧となることでしょう。

・西海まちこさん（都南・愛金）

修養科第九七八期を修了され、教養掛女子もお手伝い下さいました西海まちこさんが、こ



の春からは詰所会長宅の女子青年として、元気いっぱいの素敵な笑顔で伏せ込まれています。

・庄慶真人さん（淡路三原・三淡）

四月から専修科に入学された庄慶真人さん。張

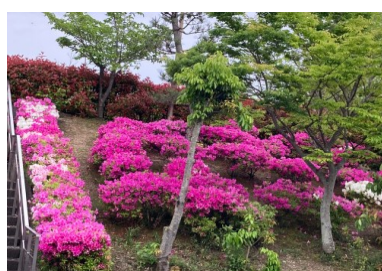


り切りすぎて入学式直前に転んで足を骨折。松葉杖についてのスタートとなりましたが、この体験はおちばに帰って来られる

足の不自由な方のお世話取りにきつと役立つことでしょう。

編集後記

詰所のツツジは今は満開。隣接する南右第二棟境界の糊面は、色とりどりの絨毯を敷き詰めたかのように艶やか美しく、年々その存在感を増している。一方、人目に付かない北側の糊面に咲くツツジは、伸び放題に枝が伸び切り、咲く花も貧相。丹精の差がはつきりと見てとれる。思うがままに放任するか、心を込めて剪定するかの違いだが、刈り込まれたツツジは毎年美しく咲き誇り、観る人に感動を与えている。



発行 天理教高安大教会信者詰所
発行者 芦田孝廣
印刷 天理市守目堂町二五五番地一

TEL 0743・63・0421